

景気の動き

四 国（管内経済情勢報告・四国財務局）

項目	4月判断	前回（1月判断）
総括判断	緩やかに持ち直している	同左
個人消費	緩やかに持ち直している	同左
生産活動	一進一退の状況にある	弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	同左
公共事業	前年度を上回っている	同左
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	同左
企業収益	7年度は減益見込み	同左
企業の景況感	「下降」超	「上昇」超

〔四国財務局 2026年4月22日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	5月月例	4月月例	
基調判断	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。）	同左	
個人消費	持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である	同左	
設備投資	持ち直している	同左	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	堅調に推移している	同左	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	おおむね均衡している	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	改善の動きがみられるが、中東情勢の影響を注視する必要がある	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる
	業況判断	おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある。	同左
	倒産件数	増加がみられる	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物価	国内企業物価	このところ上昇している	緩やかに上昇している
	消費者物価	緩やかに上昇している	このところ緩やかに上昇している

〔内閣府 2026年5月26日発表〕